

# 『核絶対否定』の理念で 原水禁長崎大会に参加して

組織部員 松本剛泰



被爆39周年原水爆禁止大会閉会総会のもよう

被爆三十九周年原水爆禁止長崎と私が参加し、大地評傘下の組合  
大会は、八月七日から九日までの 員四十二人、被爆者代表三人と  
三日間多くの外国代表を迎え、国 もに貸切りバスで七日正午、大牟  
内では沖繩から北海道まで各県の 田市役所前を出発し、航送船に乗  
仲間、市民四千五百人が参加し盛 り島原半島を一路長崎市へと走り  
大に開かれました。

「核絶対否定」の理念で、  
被爆三十九年いままなお原爆病で苦  
しい生活をしている実態などの報  
告がなされました。  
最後に自治労大阪府職労の仲間  
のユニークな寸劇「ザ・ベストテ  
ン」で閉会総会は終わりました。  
翌八日午前七時起床。今日は基  
調提言にもとづき、学習、運動分  
科会に参加し、映画「海盜り」と  
一人芝居「北百年語り」を見ま  
した。  
青森県下北半島の「原子力船  
むつ」の新設反対のたたかい、  
内灘射撃場として海や浜をとられ  
た漁民達の海を守るたたかい、原  
発燃料サイクル処理工場建設反  
対のたたかいなど、非核地帯づく  
りの運動。青い海、緑の山を子孫  
に残そうとたたかい続ける漁民の  
姿を芝居で観た参加者一同、力強  
く運動をたけまこと確認しました。

## あほんだら

艾岡友衛



## 保安

### 点検が不十分

#### 一分会 岩下 幸男

昇し、自走梯関係の労働者や下  
請けの労働者が休憩しても休  
憩した気がしない」といってほ  
だった。  
パイプをつなぎポンプを据え  
付け、温水の処理によってま  
や八十二日にやむ三十二度  
四山鉱では、盆休みからその  
後にかけて重大災害につながる  
ような事故が相次いだ。  
八月十六日、六百メートル坑  
道連延二十一目抜で、交差部が  
大崩落し、角目柱の差し棒六本  
とともに陳水溝が埋まり、二十  
一目抜から四十度の温水が入気  
坑道に流れ込み(毎分約三十ト  
ン)、三十七度までの温風が  
西三十五目関係の坑道に流れ、  
とくに本層西三十五目の添御  
本線は十八日から二十日にかけ  
て三十五度まで温度が上  
がりに下がった。  
この事故では、日常の点検と  
巡回、整備の不十分さが明らか  
に指摘できる。  
八月十七日、上層西三十五御  
西九片でBCOの上に設置された  
クーラーとベルトに硬さはさま  
づらに下がった。  
硬が引掛り落下していた。  
これは掘進の際に天井高を十  
分に取っていないことが原因  
があり、クーラーだけではな  
く、風管との間隔がなく、風管を  
円型にしなければ硬が当たって  
風管が破れたり落石しており、  
掘り進めは行われていない  
規格外の掘進が行われていな  
いことが重大な問題点がある。  
八月二十一日、本層西三十五  
御添御西七片と八片間で落石に  
よって循環冷却の冷却水の通り  
水路パイプが落下し、パイプの  
ジョイントがはずれて流水が御  
へ流れた。この復旧作業のため  
に七片のクーラー水が止まり、  
私の片盤で作業していた労働者  
が一時避難する騒ぎがあった。  
この事故は、吊り具の針金が  
腐蝕していたが原因だが、こ  
れは各所でもよく見られる。当  
然、適当な間隔でチェーンで吊  
らなければならない。  
このような事故は、たまたま  
起こったのではなく、常に見過  
こされているのではないだろう  
か。

## 北海道で重大災害続く

### 八月中、四人の尊い命を奪う

三 菱南大夕張鉱  
八月九日午前十二時五十三分  
ろ、三菱南大夕張鉱三御七片下層  
二号上段採炭作業中、採炭員  
の田野専一(五十四歳)が、  
山鳴りと同時に起こった長さ二十  
メートル、高さ八センチの山は  
ねによつてはね飛ばされ、鉄柱・  
カッターなどに頭部を強打し死に  
ました。  
また、この災害で三人が重傷、  
六人が軽傷を負いました。  
三 井 井 別 炭 鉱  
八月十七日午後九時十分ごろ、  
三井井別炭鉱北四、七百五メ  
ートルレール南段(トラカワ)二  
尺上層坑道で運搬作業中、運搬員  
の横山栄一(四十八歳)が、  
盤庄により狭くなった鋼柱に  
三 菱 南 大 夕 張 鉱  
復線部を運行中の蓄電車が横振れ  
して接触、その衝撃で電機蓋がず  
ちを引いて引き抜いたところ、鉄  
柱はチェーンをつけたままコンベ  
アに流れ、そのさいチェーンが  
緊張しチェーンと鋼柱との間に頭  
部を挟まれ死にました。  
三 菱 南 大 夕 張 鉱  
八月二十日午前五時三十分ごろ  
三菱南大夕張鉱一御八片盤下連絡  
坑道掘進作業中、掘進員の  
松田明夫(五十二歳)が、切  
羽の硬さ積込み後鋼柱を運搬し、  
サイドランプのパケットに積み込  
み中、側壁との間に挟まれ頭部を  
打撲死にされました。  
太 平 洋 炭 鉱  
八月二十七日午前十時十分ごろ  
太平洋炭鉱知人(シレット)西二片  
上部本層四号D段採炭作業中、

## 坑内火災対策の強化で 労 「意見と要求」まとめる 炭

一月十八日の三池有明炭鉱  
については、炭政会議調査団、  
炭政調査団、政府調査団、衆  
参議調査団などが多面的に調査を  
行うとともに、司法捜査を含め  
て現在さらに継続中である。  
有明炭の災害の根本的な要因  
は、三井資本の保安監視の体制  
にあるが、同じような弱点は他  
の石炭資本や政府にもあり、保  
安法、石炭規則、同運用基準、  
坑内火災防止対策強化に  
関する炭労の意見と要求

### 坑内火災防止対策強化に 関する炭労の意見と要求

- (1) BCO管理体制について  
① 機械状況のいかんにか  
かわらず、最低限のベルト  
番(または巡回員)の配置  
を義務づけること。
- (2) 機械係員の巡回点検頻度  
を強化すること。
- (3) 片寄り防止のための必要  
な措置を強めること。
- (4) 早期発見、早期消火体制に  
ついで  
① COセンサー、煙感知器  
などの設置義務を強化する  
こと。
- (5) 緊急連絡用の電話回線お  
よび誘導無線の体制を強化  
すること。
- (6) 必要な箇所については、  
消火栓の動力源の二系統以  
上確保を義務づけること。
- (7) 救護隊とは別に「坑内消  
火組織」の設置および教育  
訓練を義務づけること。
- (8) 防災体制について  
① 坑内火災を想定した、救  
急センター、ビートルハウ  
ス、エアーマント、救急バ  
ルブ、簡易救命器などの設  
置を義務づけること。
- (9) とくに、救急センターの  
気密性を強化すること。
- (10) 末端坑道を除き、退避経  
路の二通路確保を義務づけ  
ること。
- (11) 退避訓練について  
① 坑内各所に「坑口方向」  
を示すような義務づける  
こと。
- (12) 退避訓練は、抜き打ち実  
施を含め実践的なものとす  
ること。
- (13) あらゆる状況を想定した  
管理層の机上訓練を義務づ  
けること。
- (14) 指令室について  
① 監視制御指令室の勤務員  
は、一方二名以上とするこ  
とを義務づけること。
- (15) 指令室勤務員の権限を明  
確にするとともに、教育、  
訓練を強化すること。
- (16) 監視制御システムは、可  
能な限り見やすく、わかり  
やすいものとするよう指導  
すること。
- (17) 援助策の強化について  
① 今坑内火災の強化に関  
し、保安補助金などの充実  
強化をはかること。
- (18) 早期改善の必要なもの  
については、単年度の予算枠  
にとらわれず、運用をはか  
ること。